



Photo by N.Goya

### < 日本赤十字社 救急法講習会 開催のお知らせ >

救急法講習会開催のお知らせです。今年は、過去4回の講習で評価の高い田中講師に来ていただいたの日本赤十字社の救急法短期講習です。CPR(心肺蘇生法)とAED(自動体外式除細動器)講習の他に、ハングライダー遭難現場を想定した救難活動も研修して、正味6時間を予定しています。スカイスポーツの現場では、ぜひ身に付けておきたい、そして反復練習しておきたいものです。HG以外の普段の生活でも役立ちます。板敷のHGパイロット以外でも、参加を歓迎しますので、お誘い合わせの上、奮って参加してください。

主催団体 茨城県ハングライダーの会

日時: 7月13日(日) 集合8:45 終了 16:30 予定

場所: 大増多目的センター(板敷ランディング場付近)

内容: 日本赤十字社 救急法短期講習(心肺蘇生法・AED使用・救難法)

講師: 日本赤十字茨城支社の田中寿幸指導員

受講料: 1,500円(教材代、保険料)。昼食の手配を希望される方は、別途実費。

準備する物: 普段通りの動きやすい服装。スカート等は不可。

受講希望者は6月20日(日)までに、下記事項を明記の上申し込んでください。

1. 「7月13日救急法受講希望」
2. 昼食手配希望の有無(500円程度の実費を別途負担いただき、弁当を手配します。)
3. 茨城ハング会員の場合は会員番号(会員でない場合は所属クラブなど)
4. 氏名
5. 氏名フリガナ
6. 生年月日
7. 連絡先住所
8. E-mail(あれば)

申し込み・問い合わせ先: スポーツオーパカイト板敷ショップ内 担当 桂

email: itajiki@opa.co.jp

電話: 0299-44-3642 FAX: 0299-44-3939

## < 空中接触発生！ 皆で注意しましょう！ >

ゴールデンウィーク最終日の5月6日に、板敷テイクオフ近くの空域で、会員同士（C級とXC証）の空中接触事故が発生しました。さいわい両機とも、ランディング場へ無事に着陸しましたが、1機はスパーが完全に折れていて、飛行中はかろうじてスパーの自重で揚力を支えてつながっていただけでした。事故は、穏やかなリフト条件が始まって10機程度の機体が狭い空域でセンタリングをしていたときに発生しました。

言うまでもなく空中接触は、一瞬にして飛行不能な損傷が発生して重大事故に直結する可能性のある、とても危険な事故形態です。日本国内では今までに、空中接触事故によって数名のパイロットが亡くなっています。

板敷では過去30年近い間に、少なくとも7件の空中接触事故が数年おきに発生しています。今回のように機体以外の損害が発生しなかった例もありますが、パイロットが骨折など負傷したり、パラシュートが開ききらないうちに山林へ墜落した例もあります。

空中接触がよく発生するのは、今回のように、渋いリフトを拾おうとしているときです。このとき、他機への注意が充分でなかったり、他機の動きを甘く見積もってしまったのが原因となります。ただ、有るか無いかのリフトを拾うのは大変で、リフトを拾うことに集中する時、周囲の機体への注意はどうしても途切れがちです。

そこで、リフトをなかなかうまく拾いきれないときほど、安全確保のために、他に飛んでいる機体のことも意識するべきです。そして、個々のパイロットの能力によっては、もう周囲の機体がどこにいるか、どういう動きをしているか、意識が追いきれなくなったら、無理せずにその空域を離れましょう。（このときも不意な急な動きで離脱しないで、横から飛んでくる機体がないか注意深く周囲を見てください。）

また、「ぶつからないように注意」ではなく、「ぶつけれないように注意」するのだと思ってください。実際の空中接触はほとんど、相手に気づいた時には回避しきれなかった、と言う状況です。最後まで相手に気づかない例も多いです。大昔は、パイロットの操縦が下手でサーマルにはじかれてあらぬ方向へ突っ込んでしまう例もありましたが、最初から見えている相手にこちらからぶつかっていったなどと言う例はまずありません。

なお、着陸もパイロットがフルに集中する場面です。渋いリフトを拾う場面に次いで空中接触が発生しやすい状況です。ほかの機体が飛んでいるのがわかっているにもかかわらず、他機警戒の注意が途切れがちです。他機を避けようとしてクラッシュランディングして事故になる例もあります。高度の余裕があるうちにお互いがアイコンタクトして、高度差が取れるように協力しましょう。

以上、余裕を持った判断で、安全に楽しく飛びましょう！

### 5月役員会報告

開催日時	2008年5月25日(日)16:30～19:00			
場所	スポーツオーパカイト内			
出席者	園部 重己	岡本 正美	桂 敏之	小林 奈緒子
	秋山 拓二	安東 正夫	井上 潔	岩崎 隆司
	上田 佳央	大沢 豊	鈴木 由路	他会員数名
	呉屋 紀彰(書記)			

#### 1. 定例報告事項

##### (1) 新入会員報告

会員番号	氏名(ふりがな)	検定員
867	藤瀬 晶子(ふじせ しょうこ)	安東
868	山寺 崇仁(やまでら たかひと)	桂
869	服部 良亮(はっとり りょうすけ)	安東
870	浅賀 純一(あさが じゅんいち)	安東

茨城ハング会員数 152名(2008年5月現在)

## (2) エリア管理作業報告（岡本役員）

作業日時	作業内容
2月28日	エリア見回り TOトイレ掃除
3月23日	エリア見回り TOトイレ掃除
4月20日	エリア見回り TOトイレ掃除 TO吹流しポール修理 吹流し1本交換 LD排水ポンプ修理（キャブ、リコイル、プラグ） LD排水ポンプガス6リットル補給
4月30日 ～5月13日	第1回LD土手草刈
5月7日 ～5月8日	第1回LDトラクター草刈
5月8日	LD排水ポンプガス3リットル補給 グライダー解体場給水栓修理
5月22日	エリア見回り TOトイレ掃除 LD排水ポンプガス3リットル補給
5月23日	役場観光協会平成20年度会費支払い

## (3) 会計状況報告（小林役員）

再入会者が若干少ない状況ではあるが、今のところ大きな支出の予定もなく順調に推移している。

## 2. 報告・審議事項

### (1) エリアルールに定める危険行為に関する役員会での判断基準について

昨年（2007年）エリアルールに定める「3.危険行為に対する罰則規定」に関して、一部内容を見直す修正が行われた。具体的には「フライト停止期間」に関する取り決めについて、改定前は一律「一ヶ月」と定めていたものを「状況に応じて役員会で協議の上、フライト停止期間を延長あるいは短縮できる」という補足を加えた。今回、役員会における協議上の判断基準をある程度設ける方針を固めた。

会としては発生した危険行為に対し、基本的に下記要素を判断基準とし役員会による評決にて判断を行う事とした。

- ・ 対外性（会の存続への影響等を考慮）
- ・ 悪質性（故意または重大な過失を考慮）
- ・ 重大性（損害の程度）

### (2) 5月6日発生の中空接触事故について

本会報のはじめに掲載した中空接触事故について、役員会で事故の状況説明及び対処について議論した。今回の件は中空接触という重大事故にもかかわらず、幸いにも怪我人もなく機体損傷のみと事なきを得た。パイロットの過失は否めないが、対外性についてはさほど影響が出ることはないという認識で一致した。また報告・審議事項の(1)で設けた基準を元に、フライト停止期間の増減について協議した。採決の結果、フライト停止期間は増減せず、1ヶ月のフライト停止とすることに決定した。

(3) 関東学生連盟主催の草大会について

2月19日(火)、20日(水)に足尾&板敷エリアにて開催された学生の草大会について、事故もなく無事開催されたとの報告があった。

(4) スプリングフライトについて

春の周期的に変化する天気、雨で始まり雨で終わるパターンで2本の成立の大会となったとの報告があった。

優勝：大門 浩二 2位：鈴木 由路 3位：加藤 実 女子の部1位：桜井 さやか

3. イベント・大会案内

下記イベント・大会の開催連絡が来ています。(網掛けは誰でも参加申し込みできるイベントです。)ご都合が合う方は参加してみたいかがでしょうか?詳しくは各ショップにお尋ね下さい。

イベント名	日時	開催場所	内容
救急法講習会	7/13(日) 8:45~16:30	大増多目的 センター	毎年恒例の救急法講習会です。会員以外の参加も可能です。
茨城ハング 2008年7月役員会	7/13(日) 16:30~	スポーツオー パーク	茨城ハング役員定例会。一般の会員の参加も歓迎いたします。
月例会(7月 度)	7/19(土)~ 21(月・祝)	板敷エリア	茨城ハング有志会員による月例コンペティションです。 <a href="http://imc.cloud-street.net">http://imc.cloud-street.net</a>

次回役員会: 2008年7月13日(日) 16:30~  
場所: スポーツオーパーク